

保護者の皆様へ

～子どもたちのために 周囲の大人が手を携えて～

四街道市では、「思いやる心・強い心・自尊感情の育成」を目指して、市内全小中学校において、「命の教育」を推進しています。子どもたち一人一人が、命の尊さや命の重さについて理解し、自分の命も周囲の命も大切にすることができるよう、学校教育のさまざまな場面をとらえて指導しているところです。

子どもたちは、友人関係や教師との関係、親子関係の中で、様々な困難に出会います。私たち大人は、経験上、どのような困難であっても解決策はたくさんあることを知っていますが、子どもたちは、困難の解決策をあまり知りません。そのため、自分の知っている数少ない解決策に固執するあまり、行き場を失ってしまうこともあります。しかし、身近にいる大人である保護者と教師とが情報を共有し、知恵を出し合い、共に手を携えて子どもたちのために努力することで、必ず解決策は見つかるはずです。大人は、解決の道筋を示しながら、「困難は必ず乗り越えられる」と子どもたちに伝え続けなければなりません。

子どもにとって最も身近な存在である保護者の皆様には、ありのままの子どもの思いを受け止めていただきたいと思います。そして、その子どもの思いを学校や教師に伝えることも、保護者の皆様にしかできない大切な役割ではないかと思います。子どもの教育は、保護者と学校との二人三脚で行うべきものです。子どもたちが安心して楽しく生活することができるよう、ぜひ家庭と学校の連携を強め、共に子どもたちを見守っていただきますようお願いいたします。

平成28年10月

四街道市教育長 高橋 信彦